

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
BP101	クリエイティビティ I							30		1		
担当教員	中村 紗希				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○		アパレルメーカーでデザイナーとして勤務。インナーやアウター、ボトムスまで多種多様なアイテムをトータルコーディネートで企画。実務経験を生かし、授業では商品知識やコーディネートテクニックの基礎知識を身につける。									
講義目的												
様々なテーマからインスピレーションを受け、ファッションデザインの基礎となるデザイン展開方法を学び、スタイリングデザインをするための発想力を身に付ける。												
授業内容												
テーマ、コンセプトを立てスタイリングを発想する手法を学び、リサーチ、発想力を強化させる。 またオリジナリティのあるスタイリングを表現できる力を身につける。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	スタイリングデザインについて					授業内容の説明					
2	2	スタイリングデザイン発想①					ブレインストーミングの練習					
3	2	スタイリングデザイン発想					ムード・トレンド分析					
4	2	スタイリングデザイン発想					イメージ資料の収集とチェック・スケッチ					
5	2	スタイリングデザイン発想					インスピレーションミュージズのリサーチと研究					
6	2	スタイリングデザイン発想					コラージュ実験とイラストレーションミックス					
7	2	スタイリングデザイン発想					シルエット開発とプロポーショナル決定					
8	2	スタイリングデザイン発想					スパイスとなるアイデアのリサーチ手法					
9	2	スタイリングデザイン発想					アイデア落とし込み					
10	2	スタイリングデザイン発想					テクニックリサーチ手法・落とし込み					
11	2	スタイリングデザイン発想					MAP説明					
12	2	スタイリングデザイン発想					MAP作成					
13	2	スタイリングデザイン発想②【連動】					イメージ資料の収集とチェック・スケッチ					
14	2	スタイリングデザイン発想					インスピレーションミュージズのリサーチと研究					
15	2	スタイリングデザイン発想					コラージュ実験とイラストレーションミックス					
留意事項												
自分自身の発想に必要なアイデアを多方面からリサーチ・セレクトしデザインへ落とし込む為、日頃から何事にも興味を持って過ごすことが大切。												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
テーマからインスピレーションしたスタイリングを提案し、自らの新しいスタイリングを考案する				ディスカッション 課題作成				取組姿勢		25%		
								提出物		25%		
								習熟度(到達目標に対して)		50%		

ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択	配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名						授業時間数			単位数	
BP101	クリエイティビティ I						30			1	
担当教員	中村 紗希			科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	アパレルメーカーでデザイナーとして勤務。インナーやアウター、ボトムスまで多種多様なアイテムをトータルコーディネートで企画。実務経験を生かし、授業では商品知識やコーディネートテクニックの基礎知識を身につける。									
講義目的											
様々なテーマからインスピレーションを受け、ファッションデザインの基礎となるデザイン展開方法を学び、スタイリングデザインをするための発想力を身に付ける。											
授業内容											
テーマ、コンセプトを立てスタイリングを発想する手法を学び、リサーチ、発想力を強化させる。またオリジナリティのあるスタイリングを表現できる力を身につける。											
授業計画及び学習課題											
項目	回数	内容				学習課題					
1	2	スタイリングデザイン発想				シルエット開発とプロポーション決定					
2	2	スタイリングデザイン発想				スパイスとなるアイデアのリサーチ手法・アイデア落とし込み					
3	2	スタイリングデザイン発想				テクニックリサーチ手法・落とし込み					
4	2	スタイリングデザイン発想③				ディスカッション					
5	2	スタイリングデザイン発想				ムード・トレンド分析					
6	2	スタイリングデザイン発想				イメージ資料の収集とチェック・スケッチ					
7	2	スタイリングデザイン発想				インスピレーションミューズのリサーチと研究					
8	2	スタイリングデザイン発想				コラージュ実験とイラストレーションミックス					
9	2	スタイリングデザイン発想				シルエット開発とプロポーション決定					
10	2	スタイリングデザイン発想				スパイスとなるアイデアのリサーチ手法					
11	2	スタイリングデザイン発想				アイデアの落とし込み					
12	2	スタイリングデザイン発想				テクニックリサーチの手法・落とし込み					
13	2	スタイリングデザイン発想				ポートフォリオ説明					
14	2	スタイリングデザイン発想				ポートフォリオ作成					
15	2	スタイリングデザイン発想				ポートフォリオ作成					
留意事項											
自分自身の発想に必要なアイデアを多方面からリサーチ・セレクトしデザインへ落とし込む為、日頃から何事にも興味を持って過ごすことが大切。											
教材											
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合			
テーマからインスピレーションしたスタイリングを提案し、自らの新しいスタイリングを考案する				ディスカッション 課題作成				取組姿勢		25%	
								提出物		25%	
								習熟度(到達目標に対して)		50%	

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数			単位数	
BP102	マーケティング・トレンド分析							30			1	
担当教員	松本 幸恵				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○	大手アパレルメーカーの百貨店 SPA ブランドで長年培ったデザイナー & チーフデザイナーとしてのキャリアを元にトレンド分析とリサーチの手法を指導。									
講義目的												
ファッションとトレンドの基礎知識を理解し、マーケットリサーチのテクニックを磨きつつ自分の『好き』を見つけ、世界観を確立しアウトプットができるスキルと感性を養う。												
授業内容												
トレンドキーワードの分析でマーケットリサーチの手法と表現方法を学びファッション感性を培いながら過去→現在→未来のトレンド予測に繋げる。市場を知ることにより自分の『世界観』を見つけていく。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	ファッションの定義					ファッションの意義、イメージ、効果					
2	2	TPO とオケージョンの理解					TPO とオケージョンスタイルの理解を深める					
3	2	トレンドの定義と時代による変遷					トレンドの時代背景の理解					
4	2	ファッション業態の変遷と理解					ブランドや SHOP のカテゴリー分類					
5	2	トレンド分析とリサーチ方法					デスクリサーチとアクティブリサーチ方法と実習					
6	2	『SDGs』の理解と分析					ファッションへの影響を学ぶ					
7	2	『ダイバーシティ』の理解と分析					ファッションへの影響を学ぶ					
8	2	『Y2K』の理解と分析					ファッショントレンドの今を過去から学ぶ					
9	2	カラーとテキスタイルのトレンド					情報の把握と市場リサーチで動向を掴む					
10	2	トレンドキーワードのリサーチ					情報の把握と市場リサーチで動向を掴む					
11	2	古着を使った SHOP 提案①					実際に面白いショップ提案を作る					
12	2	古着を使った SHOP 提案②					実際に面白いショップ提案を作る					
13	2	古着を使った SHOP 提案③					実際に面白いショップ提案を作る					
14	2	トレンドの芽を見つける①					自分が新しいと思う好きなスタイルを見つける					
15	2	トレンドの芽を見つける②					ポートフォリオまとめ					
留意事項												
ファッション業界に於いてどのような職種も日々のマーケットリサーチは欠かせないもの。トレンドを見つける感性を養うためにも PC だけに頼らず、必ず実際の市場を見て回る。欠席した場合は次回授業までにテーマのリサーチをして課題提出												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
ファッション&トレンドの基礎知識を獲得しながら自分の世界観を認識する				授業内外でのリサーチを欠かさず行いレポートにまとめ、自分の世界観をまとめたポートフォリオを作成していく				課題提出			100%	

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
BP102	マーケティング・トレンド分析							30		1		
担当教員	松本 幸恵				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○	大手アパレルメーカーの百貨店 SPA ブランドで長年培ったデザイナー & チーフデザイナーとしてのキャリアを元にトレンド分析とリサーチの手法を指導。									
講義目的												
ファッションとトレンドの基礎知識を理解し、マーケットリサーチのテクニックを磨きながら自分の『好き』を見つけ、世界観を確立しアウトプットができるスキルと感性を養う。												
授業内容												
トレンドキーワードの分析でマーケットリサーチの手法を学びファッション感性を培い過去→現在→未来のトレンド予測に繋げる。市場を知ることにより自分の『好き』を見つけていく												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	海外ラグジュアリー（デザイナーズ）ブランド トレンド分析～予測					海外ブランド知識を広げトレンド理解を深める					
2	2	国内ラグジュアリー（デザイナーズ）ブランド トレンド分析～予測					国内ブランド知識を広げトレンド理解を深める					
3	2	海外アパレルブランド分析 トレンド分析～予測					海外アパレルブランド知識を広げトレンド理解					
4	2	国内アパレルブランド分析 トレンド分析～予測					海外アパレルブランド知識を広げトレンド理解					
5	2	D2C の理解と D2C ブランドの分析					D2C の知識を広げトレンド理解					
6	2	セルフブランディング作り①					リサーチと今までのポートフォリオを元に自分の世界観（好きなもの）をまとめる					
7	2	セルフブランディング作り②					自分の魅力と強みの発見と分析					
8	2	セルフブランディング作り③					客観的に見た自分の魅力と世界観を知る					
9	2	セルフブランディング作り④					共感を得るブランディングに繋げる					
10	2	トレンド分析のまとめスライド作成①					セルフブランディングのアウトプット作業					
11	2	トレンド分析のまとめスライド作成②					セルフブランディングのアウトプット作業					
12	2	トレンド分析のまとめスライド作成③					スライド作成（実習）					
13	2	トレンド分析のまとめスライド作成④					スライド作成（実習）					
14	2	リハーサル					世界観まとめ					
15	2	発表					発表					
留意事項												
ファッション業界に於いてどのような職種も日々のマーケットリサーチは欠かせないもの。トレンドを見つける感性を養うためにも PC だけに頼らず、必ず実際の市場を見て回る。欠席した場合は次回授業までにテーマのリサーチをして課題提出												
教材												
最終到達目標			学習法				評価方法及び評価割合					
ポートフォリオを元に自己分析を行い世界観の認識と確立 アウトプットのスライド作成			授業内外でのリサーチを欠かさず 行いレポートにまとめ、自分の世界観をまとめたポートフォリオを 作成していく				課題提出		100%			

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数			単位数	
BP103	マーチャндаイジング I							30			2	
担当教員	福永 瑠衣				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○ アパレル販売を経験後、婦人服製造卸でミセスブランド企画担当として、MD業務全般に従事した。海外の縫製メーカーとの交渉や生地選定のため出張する等、海外ビジネスの経験が豊富											
講義目的												
広範囲にわたるファッションビジネスの基礎知識を理解する。												
授業内容												
前期はファッションビジネスについて歴史と業界の構造を学習し、後期は売場の計数管理を通して店舗運営の基礎を学習する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	ファッションビジネス知識					オリエンテーション 第1章 1.ファッションの特性					
2	2	ファッションビジネス知識					第1章 2.ファッションビジネス					
3	2	ファッションビジネス知識					第1章 3.消費者					
4	2	ファッションビジネス知識					第2章ファッションビジネスの変遷 50,60年代					
5	2	ファッションビジネス知識					第2章ファッションビジネスの変遷 70,80年代					
6	2	ファッションビジネス知識					第2章ファッションビジネスの変遷 90,00年代					
7	2	ファッションビジネス知識					第2章ファッションビジネスの変遷 10年代					
8	2	ファッションビジネス知識					第2章ファッションビジネスの変遷 現代					
9	2	ファッションビジネス知識					第3章 1.ファッション産業の構造					
10	2	ファッションビジネス知識					第3章 2.流通の基礎知識					
11	2	ファッションビジネス知識					第3章 3.アパレル生産					
12	2	ファッションビジネス知識					第3章 4.貿易、5.職種					
13	2	ファッションビジネス知識					第4章 1.経営					
14	2	ファッションビジネス知識					第4章 2.情報活用					
15	2	ファッションビジネス知識					テスト					
留意事項												
世の中の多様な店舗、事業、業態に日ごろから興味関心を持つことを心がける。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 12 ファッションビジネス」(文化出版局 2019年)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
前期 アパレル業界の構造を理解する。 後期 計数知識を身につける。				講義 テスト				筆記テスト		70%		
								平常点		30%		

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
BP103	マーチャンダイジング I							30		2		
担当教員	福永 瑠衣				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○				アパレル販売を経験後、婦人服製造卸でミセスブランド企画担当として、MD 業務全般に従事した。海外の縫製メーカーとの交渉や生地選定のため出張する等、海外ビジネスの経験が豊富							
講義目的												
広範囲にわたるファッションビジネスの基礎知識を理解する。												
授業内容												
前期はファッションビジネスについて歴史と業界の構造を学習し、後期は売場の計数管理を通して店舗運営の基礎を学習する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	2	ファッションビジネス知識				第5章 1ファッションマーケティング						
2	2	ファッションビジネス知識				第5章 2.マーケットリサーチ						
3	2	ファッションビジネス知識				第5章 3.マーチャンダイジング						
4	2	ファッションビジネス計数知識				第6章 計数管理						
5	2	ファッションビジネス計数知識				第6章 計数管理						
6	2	ファッションビジネス計数知識				第6章 計数管理						
7	2	ファッションビジネス計数知識				第6章 計数管理						
8	2	ファッションビジネス計数知識				第6章 計数管理						
9	2	ファッションビジネス計数知識				第6章 計数管理						
10	2	ファッションビジネス計数知識				第6章 計数管理						
11	2	ファッションビジネス計数知識				第6章 計数管理						
12	2	ファッションビジネス計数知識				第6章 計数管理						
13	2	ファッションビジネス知識				第7章 ファッション販売						
14	2	ファッションビジネス知識				第8章 企業とルール						
15	2	ファッションビジネス知識				テスト						
留意事項												
世の中の多様な店舗、事業、業態に日ごろから興味関心を持つことを心がける。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 12 ファッションビジネス」(文化出版局 2019年)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
前期 アパレル業界の構造を理解する。 後期 計数知識を身につける。				講義 テスト				筆記テスト		70%		
								平常点		30%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名	ビジネスコース						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B102	ビジネススキル							45		3		
担当教員	高柿 幸江				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレル企業で店長を経て、バイヤー・小物企画を歴任。国内外の展示会にて、商品の仕入調達や売場運営管理に精通。その後、新店舗内装やVMD・SVに従事する。授業では、販売員の業務内容や数値管理、商品仕入計画などの指導を行う。										
講義目的												
広範囲にわたるファッションビジネスの歴史と基礎を理解する。												
授業内容												
前期は小売店舗を中心とした、ファッションビジネスについて素材産業からメーカー、セレクトショップまでの領域を学習し、後期は売場の基礎計数を学習する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	3	ファッションビジネス知識				オリエンテーション/ファッション特性とトレンド						
2	3	ビジネス計数知識				数字記入の基本的ルール						
3	3	ファッションビジネス知識				ファッションビジネスの特徴と求められる資質						
4	3	ビジネス計数知識				電卓の使用方法、OFF 価格の出し方						
5	3	ファッションビジネス知識				消費者：分類、問題、行動						
6	3	ビジネス計数知識				売上高の構造分解（売上・客数・客単）						
7	3	ファッションビジネス知識				消費者：分類、問題、行動						
8	3	ビジネス計数知識				売上高の構造分解（売上・客数・客単）						
9	3	ファッションビジネス知識				ファッションビジネスの変遷						
10	3	ビジネス計数知識				前年比、達成率						
11	3	ファッションビジネス知識				ファッションビジネスの変遷						
12	3	ビジネス計数知識				前年比、達成率						
13	3	ファッションビジネス知識				ファッションビジネスの変遷						
14	3	ファッションビジネス知識/ビジネス計数知識				総合テスト						
15	3	ファッションビジネス知識/ビジネス計数知識				テスト返却、フィードバック						
留意事項												
自分の興味のある業種業態だけではなく、あらゆる小売店舗やWEBサイトを含む業界全体に普段から興味を持つこと。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 12 ファッションビジネス」（文化出版局 2019年）												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
前期、アパレル業界を広く知る。 後期、最低限の計数知識を身につける。				講義 テスト				筆記テスト		80%		
								習熟度（到達目標に対して）		20%		

学科名	ファッションビジネス学科				コース名			ビジネスコース				
分類	必修	○	選択	配当学年		1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
B102	ビジネススキル							15		1		
担当教員	高柿 幸江			科目区分	講義		○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレル企業で店長を経て、バイヤー・小物企画を歴任。国内外の展示会にて、商品の仕入調達や売場運営管理に精通。その後、新店舗内装やVMD・SVに従事する。授業では、販売員の業務内容や数値管理、商品仕入計画などの指導を行う。										
講義目的												
広範囲にわたるファッションビジネスの歴史と基礎を知り、日々の勉強に役立てる。												
授業内容												
前期は小売店舗を中心とした、ファッションビジネスについて素材産業からメーカー、セレクトショップまでの領域を学習し、後期は売場の基礎計数を学習する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	ビジネス計数知識					アイテム構成比					
2	1	ファッションビジネス知識					産業構造、流通、生産、職種					
3	1	ビジネス計数知識					月初在庫、月末在庫					
4	1	ファッションビジネス知識					産業構造、流通、生産、職種					
5	1	ビジネス計数知識					月初在庫、月末在庫					
6	1	ファッションビジネス知識					経営と情報活用					
7	1	ビジネス計数知識					仕入原価、値入高、原価率					
8	1	ファッションビジネス知識					時事ワード					
9	1	ビジネス計数知識					仕入原価、値入高、原価率					
10	1	ファッションビジネス知識					世界の企業					
11	1	ビジネス計数知識					粗利益高、粗利益率					
12	1	ファッションビジネス知識					メール文作成					
13	1	ビジネス計数知識					粗利益高、粗利益率					
14	1	ファッションビジネス知識/ビジネス計数知識					総合テスト					
15	1	ファッションビジネス知識/ビジネス計数知識					テスト返却/フィードバック					
留意事項												
数値に苦手意識を持たず、積極的に取り組む。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 12 ファッションビジネス」(文化出版局 2019年)												
最終到達目標			学習法				評価方法及び評価割合					
前期、アパレル業界を広く知る。 後期、最低限の計数知識を身につける。			講義 テスト				筆記テスト		80%			
							習熟度(到達目標に対して)		20%			

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		担当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数			単位数	
P104	コーディネート							15			1	
担当教員	小谷 秀子				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○				元アパレルデザイナー。その後、服飾専門学校専任講師を12年間務める。その実務経験によりパーソナルカラー&パーソナルスタイルを中心に指導。							
講義目的												
ファッション商品がライフスタイルと共に多様化する中、お客様のライフスタイルやテイストにマッチしたコーディネート提案ができるようになることを目的とする。												
授業内容												
お客様が年齢や職業だけでなくどのような価値観を持ち、服を選んでいるのか、そのファッション感性を理解する。その後、イメージマップやペーパープランを作成することでライフスタイルやファッションニーズに合ったコーディネート方法を習得する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	ライフスタイルに視点を置いたコーディネート					コーディネートの必要性、ライフスタイル分析					
2	1	ファッションニーズ					テイスト、タイプの理解、デザインの選び方					
3	1	オケーションスタイル					オケーション別のスタイルを理解する					
4	1	オケーションスタイル					オケーションスタイルのマップ作成					
5	1	オケーションスタイル					オケーションマップの提出					
6	1	ファッション感性					ファッション感性8分類の理解					
7	1	ファッション感性					ファッション感性別に資料収集し分類する					
8	1	ルックス					年代別のファッションコーディネートを理解					
9	1	ファッショントレンド					春夏コレクション情報からトレンドを理解する					
10	1	MYトレンド提案					おすすめスタイルをプランする					
11	1	MYトレンド提案					マップ資料収集、作成					
12	1	MYトレンド提案					マップ資料収集、作成					
13	1	MYトレンド提案					MYトレンドマップ提出					
14	1	カラーコーディネート					色の配色効果を活かしたコーディネート分類					
15	1	前期復習					返却、まとめ					
留意事項												
お店のディスプレイ等でコーディネートをリサーチしておくことが望ましい												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 ファッション流通講座 7 コーディネートテクニック（演出編）」（文化出版局）												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
お客様のファッション感性を察知し、接客アドバイスに役立てられるようになる。				生活シーンとコーディネートを関連付けてリサーチを行うことで、コーディネート力の幅が広がる。				提出課題を総合的に評価		100%		

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数			単位数	
P104	コーディネート							15			1	
担当教員	小谷 秀子				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○ 元アパレルデザイナー。その後、服飾専門学校専任講師を12年間務める。その実務経験によりパーソナルカラー&パーソナルスタイルを中心に指導。											
講義目的												
お客様のライフスタイルやテイストにマッチしたコーディネートが提案できるようになることを目的とする。また、センスアップに繋がるコーディネートテクニックを習得する。												
授業内容												
デザイン、素材、色の組み合わせ方、体型カバーのテクニックを習得することで、実践的なコーディネート技術を学ぶ。また、イメージマップやペーパープランを作成することで理解を深める。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	1	ファブリックコーディネート				素材の効果を活かしたコーディネート						
2	1	紳士服のコーディネート				ビジネススタイル、カジュアルスタイルを理解						
3	1	紳士服のコーディネート				ネクタイ、ポケットチーフの使い方、スタイル分類						
4	1	小物アクセサリーの選び方				帽子、ネックレス、指輪の選び方を理解						
5	1	小物アクセサリーの選び方				靴、メガネの選び方を理解、ネックウェアの演習						
6	1	体型カバー				部分的カバーをする方法を理解しペーパープランにまとめる						
7	1	体型カバー				全身のカバーをする方法を理解しペーパープランにまとめる						
8	1	MYコーディネート提案				自分のファッションニーズを分析する						
9	1	MYコーディネート提案				秋冬トレンドを取り入れたコーディネート提案チェック						
10	1	MYコーディネート提案				体型カバーを取り入れたコーディネート提案のチェック						
11	1	MYコーディネート提案				マップの資料収集						
12	1	MYコーディネート提案				マップ作成、提出						
13	1	パーソナルカラー				パーソナルカラー4シーズンの理解と診断方法						
14	1	パーソナルカラー				パーソナルカラー演習						
15	1	後期総復習				返却、まとめ						
留意事項												
お店のディスプレイ等でコーディネートをリサーチしておくことが望ましい												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 ファッション流通講座 7 コーディネートテクニック（演出編）」（文化出版局）												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
お客様の生活シーン、ファッションニーズに合わせてコーディネート提案を適切に行えるようになる。				生活シーンとコーディネートを関連付けてリサーチを行うことで、コーディネート力の幅が広がる。				提出課題を総合的に評価		100%		

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
BP106	商品プロダクション I							60		2		
担当教員	佐々木 啓子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○ 下着デザイン、百貨店空間デザイン職を経て専門学校教員に従事。主に1960年代、百貨店に設けられたオートクチュールサロンのパターンと縫製技術を研究。国家資格キャリアコンサルタント保有。										
講義目的												
洋服の立体構造を理解することを目的とする。基本見頃をアレンジし実物作成の上使用理解												
授業内容												
①見頃スローパーの説明 ②基本見頃をアレンジ～裁断～縫製												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	基礎					縫製、製図用具の説明・人体部位名称説明・採寸説明					
2	4	ミシン、ロックミシンについて					ミシン、ロックミシンの扱い方、縫い方の練習					
3	2	ミシン基礎縫い					裁断から直線ミシン縫いの練習					
4	8	見頃基礎製図					見頃パターンの名称・ダーツ展開					
5	6	ワンピース基本製図					ワンピーストワル組み立て					
6	4	基本ワンピースのアレンジ					基本ワンピースアレンジデザイン					
7	10	基本ワンピースのアレンジ					アレンジデザイン実物大製図					
8	2	基本ワンピースのアレンジ					裁断					
9	4	基本ワンピースのアレンジ					縫製					
10	4	基本ワンピースのアレンジ					縫製					
11	4	基本ワンピースのアレンジ					縫製					
12	4	基本ワンピースのアレンジ					縫製					
13	4	基本ワンピースのアレンジ					縫製					
14	2	基本ワンピースのアレンジ					仕上げ、検品、検寸、指図書					
留意事項												
欠席で提出物が遅れた学生は、次回授業までに提出すること												
教材												
大阪文化服装学院編パターンメイキング、サンプルメイキング												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
見頃の立体構造を理解すること。基本デザインをアレンジし、実物製作できる。				講義 課題作成				提出物／期限厳守		80%		
								取組姿勢		20%		

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数			単位数	
BP106	商品プロダクション I							60			2	
担当教員	佐々木 啓子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○ 下着デザイン、百貨店空間デザイン職を経て専門学校教員に従事。主に1960年代、百貨店に設けられたオートクチュールサロンのパターンと縫製技術を研究。国家資格キャリアコンサルタント保有。										
講義目的												
洋服の立体構造を理解することを目的とする。基本パンツをアレンジし実物作成の上使用理解												
授業内容												
①基本スカート、パンツの説明 ②基本パンツをアレンジ～裁断～縫製												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	部分縫い					パンツ、スカートの裾上げ方法					
2	2	ボトム基礎					パンツ、スカートのパターンの名称					
3	4	スカートのアレンジ①					アレンジデザイン考案					
4	10	スカートのアレンジ②					アレンジデザインのパターン展開					
5	2	スカートのアレンジ③					裁断					
6	8	スカートのアレンジ④					縫製					
7	2	スカートのアレンジ⑤					縫仕上げ、検品、検寸、指図書					
8	4	パンツのアレンジ①					アレンジデザイン考案					
9	12	パンツのアレンジ②					アレンジデザインのパターン展開					
10	2	パンツのアレンジ③					裁断					
11	4	パンツのアレンジ④					縫製					
12	4	パンツのアレンジ⑤					縫製					
13	2	パンツのアレンジ⑥					縫製					
14	2	パンツのアレンジ⑦					仕上げ、検品、検寸、指図書					
留意事項												
欠席で提出物が遅れた学生は、次回授業までに提出すること												
教材												
大阪文化服装学院編パターンメイキング、サンプルメイキング												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
ボトムの立体構造を理解すること。基本デザインをアレンジし、実物製作できる。				講義 課題作成				提出物／期限厳守		80%		
								取組姿勢		20%		

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数			単位数	
P107	ファッションドローイング I							15			1	
担当教員	藤原 舞				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	レディースアパレルメーカー、OEM/ODM でデザイナーとして勤務した経験からアパレル業界で必要なドローイングテクニックを指導。										
講義目的												
ファッションデザイン画の基礎構造を学習し、イラストのバランス感覚を養う。												
授業内容												
写真や実物を観察し、バランスを読み取る目を身に付け、描くことを学ぶ。 ハンガーイラストの基礎を学ぶ。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	ドローイング概論 ①					静物デッサン					
2	1	ドローイング概論 ②					ファッションモデルデッサン					
3	1	描写①					写真を観察してバックを描く					
4	1	描写②					仕上げ					
5	1	描写③					写真を観察して帽子を描く					
6	1	描写④					仕上げ (デザインペン)					
7	1	描写⑤					写真を観察して顔を描く					
8	1	描写⑥					仕上げ					
9	1	ハンガーイラスト①					服の構造を知り、描く (Tシャツ、トレーナー)					
10	1	ハンガーイラスト②					服の構造を知り、描く (シャツ)					
11	1	ハンガーイラスト③					服の構造を知り、描く (ブラウス)					
12	1	ハンガーイラスト④					服の構造を知り、描く (スカート)					
13	1	ハンガーイラスト⑤					服の構造を知り、描く (パンツ)					
14	1	ハンガーイラスト⑥					服の構造を知り、描く (ワンピース、アウター)					
15	1	ハンガーイラスト⑦					靴の構造を知り、描く					
留意事項												
繰り返し練習する事が上達の必修条件であり、授業時間外の取り組みも重要である。欠席した場合は、次回授業までに課題を終わらせておく事。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 4 ファッションデザイン画」(文化出版局)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
写真や実物を見ながら、描写する事が出来る。 ハンガーイラストが描ける。				描画方法 説明と実践				課題提出		100%		

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数			単位数	
P107	ファッションドローイング I							15			1	
担当教員	藤原 舞				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	レディースアパレルメーカー、OEM/ODM でデザイナーとして勤務した経験からアパレル業界で必要なドローイングテクニックを指導。										
講義目的												
ファッションデザイン画の基礎構造を学習し、イラストのバランス感覚を養う。												
授業内容												
全身スタイル画の基礎とバランス感覚を学ぶ。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	1	ファッションドローイングの基礎 ①				顔の描き方 正面、横						
2	1	ファッションドローイングの基礎 ②				基本プロポーズシヨンの描き方 正面						
3	1	ファッションドローイングの基礎 ③				基本プロポーズシヨンの描き方 正面						
4	1	ファッションドローイングの基礎 ④				手、腕の描き方						
5	1	ファッションドローイングの基礎 ⑤				脚、足の描き方						
6	1	ファッションドローイングの基礎 ⑥				ポーズバリエーション①						
7	1	ファッションドローイングの基礎 ⑦				ポーズバリエーション②						
8	1	描写 (全身スタイル画) ①				水着着装						
9	1	描写 (全身スタイル画) ②				テキスト着装						
10	1	描写 (全身スタイル画) ③				描写 (鉛筆) ①						
11	1	描写 (全身スタイル画) ④				描写 (鉛筆) ②						
12	1	描写 (全身スタイル画) ⑤				描写 (鉛筆) ③						
13	1	描写 (全身スタイル画) ⑥				描写 (色鉛筆) ①						
14	1	描写 (全身スタイル画) ⑦				描写 (色鉛筆) ②						
15	1	描写 (全身スタイル画) ⑧				描写 (色鉛筆) ③						
留意事項												
繰り返し練習する事が上達の必修条件であり、授業時間外の取り組みも重要である。欠席した場合は、次回授業までに課題を終わらせておく事。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 4 ファッションデザイン画」(文化出版局)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
スタイル画がバランス良く描く事が出来る。				用具使用法・描画方法説明と実践				課題提出			100%	

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
P113	デジタルスキル I							15		1		
担当教員	西田 由美子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目		○	企業向けに集客や売上アップを目指すため SNS 運営のコンサルティングを行う。									
講義目的												
コンピューターの基礎知識を身につけ、活用できる様になる。												
授業内容												
様々なアプリケーションを使いながら、コンピューターの基礎知識を学んで行くとともに、インターネットやサーバー、クラウドといったコンピューターを取り巻く環境や周辺機器の知識を身につける												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	コンピューターの基礎知識①					コンピューターでできること					
2	1	コンピューターの基礎知識②					コンピューターと周辺環境及び機器の理解					
3	1	コンピューターの基礎知識③					データとは何か。ファイル・フォルダ・ディレクトリ					
4	1	ビジネスアプリケーション概要										
5	1	定番ビジネスアプリ（オフィス）①					ワードでビジネス文書をつくってみる。					
6	1	定番ビジネスアプリ（オフィス）②					見積書・請求書・領収書					
7	1	定番ビジネスアプリ（オフィス）③					表計算とグラフ					
8	1	Apple のビジネスアプリ					アプリの紹介とデータの互換性について					
9	1	デジタルデータの基礎知識					PDF ファイルの活用法 ZIP データと PPAP					
10	1	インターネットと WEB アプリケーション					クラウドベースのアプリケーションの特徴					
11	1	Chrome Book①					Chrome Book・Google APP 概要					
12	1	Chrome Book②					Google スライドでプレゼンデータを作ってみる①					
13	1	Chrome Book③					Google スライドでプレゼンデータを作ってみる②					
14	2	テスト										
留意事項												
興味をもって課題練習に取り組み、操作を覚えられるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席（公欠の場合も）等で授業に遅れた時は、次の授業時間までに、必ず自習しておくこと。												
教材												
最終到達目標												
学習法												
評価方法及び評価割合												
コンピューターとその環境の知識を身につけるとともに、アプリケーションの特徴を理解し活用できる。		Apple コンピューターを使用した実技		小課題				50%				
				テスト				50%				

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
P113	デジタルスキル I							15		1		
担当教員	西田 由美子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による 授業科目		○	企業向けに集客や売上アップを目指すため SNS 運営のコンサルティングを行う。									
講義目的												
コンピューターの基礎知識を身につけ、活用できるようになる。												
授業内容												
様々なアプリケーションを使いながら、コンピューターの基礎知識を学んで行くとともに、インターネットやサーバー、クラウドといったコンピューターを取り巻く環境や周辺機器の知識を身につける												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	その他の WEB アプリ (Canva)					canva 概要 canva でできること					
2	1	その他の WEB アプリ (Canva)					canva でプレゼンデータを作ってみる①					
3	1	その他の WEB アプリ (Canva)					canva でプレゼンデータを作ってみる②					
4	1	クリエイター向けアプリケーション概要										
5	1	DTP					印刷のワークフロー イラストレーターの基礎知識					
6	1	DTP					ポストカード作成①					
7	1	DTP					ポストカード作成②					
8	1	画像データと写真					photoshop と画像解像度					
9	1	画像データと写真					フォトレタッチ					
10	1	映像編集					映像の基礎知識					
11	1	デジタル時代の著作権										
12	1	まとめ①					ビジネスアプリ					
13	1	まとめ②					クリエイターアプリ					
14	2	テスト										
留意事項												
興味をもって課題練習に取り組み、操作を覚えられるまで繰り返し実践すること。遅刻・欠席(公欠の場合も)等で授業に遅れた時は、次の授業時間までに、必ず自習しておくこと。												
教材												
最終到達目標												
学習法												
評価方法及び評価割合												
コンピューターとその環境の知識を身につけるとともに、アプリケーションの特徴を理解し活用できる。		Apple コンピューターを使用した実技		小課題				50%				
				テスト				50%				

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名								授業時間数		単位数	
BP109	VMD I								30		2	
担当教員	道仲 阿子				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレルで店長を経て、全社のVMDを担当、その後VMDのコンサルティング会社に入社、有名ブランドのVMDの指導を行っている。										
講義目的												
小売店舗、オリジナルブランドのシーズンコンセプトや品揃え政策を反映させた、魅せる売場づくりであるヴィジュアルマーチャンダイジングを学び各コースの特性に合わせ活用できる人材を育成する。												
授業内容												
VMDの4ジャンル（陳列展示、品揃え、店舗構成、店頭販促）を複合的に学習する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	VMDとは①					VMDの目的、役割、責任について					
2	2	VMDとは②					陳列の基本					
3	2	マネキンの着せ付け					フォーミング メンテナンス					
4	2	学内ウィンドープラン①					プランニング					
5	2	学内ウィンドープラン②					プランニング 施工準備					
6	2	学内ウィンドー施工					ウィンドーセットアップ					
7	2	基本の構成①					ディスプレイテクニック基礎					
8	2	基本の構成②					ターゲットに合った見せ方について					
9	2	中間テスト					VMD基本理論					
10	2	導線と動線					お客様を導く線とお客様に回遊してもらう線の重要性について					
11	2	ゾーニング計画①					役割を考えた什器の配置について					
12	2	ゾーニング計画②					店舗模型製作					
13	2	ゾーニング計画③					ゾーニング・動線の解析					
14	4	テスト					復習					
留意事項												
パソコンを必ず持参すること。												
教材												
教員提供の教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
VMDを理解する				講義・演習				筆記テスト		40%		
								課題提出		40%		
								取り組み姿勢		20%		

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
P106	素材知識 I							15		1		
担当教員	丸山 美幸				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレルのチーフデザイナーとして、婦人服の複数ブランドを担当をへて高級婦人服プリントの企画と配色に従事。市場調査や流行分析、ブランドの市場への定着に積極的に取り組む。授業では、素材の基礎知識を販売～企画に活かせるよう指導										
講義目的												
素材の成り立ちを理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。 素材の特性を知り、ファッション販売～企画に必要な取り扱い説明が出来るようになる。												
授業内容												
素材の種類、糸、生地についての講義。 素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方の違いを理解												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	1	オリエンテーション				カリキュラム説明、素材や生地について						
2	1	基本導入				生地の基本・繊維の分類						
3	1	天然繊維①				植物繊維						
4	1	天然繊維②				動物繊維						
5	1	化学繊維①				再生繊維						
6	1	化学繊維②				半合成繊維						
7	1	化学繊維③				合成繊維						
8	1	糸について①				糸の種類・紡績糸						
9	1	糸について②				糸の撚りや番手						
10	1	糸について③				複合糸・意匠糸						
11	1	織物について①				織物の3原組織						
12	1	織物について②				織物の変化組織、その他織物						
13	1	編物について①				編物の3原組織						
14	1	編物について②				その他の編み物組織						
15	1	復習テスト				前期復習						
留意事項												
講義で習った素材は触って覚えること。 素材感を実感する習慣をつける。 製品品質表示や下げラベルを意識して見ることを習慣づける												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」(文化服装学院) 関間正雄編「テキスタイル事典」(ナツメ社)												
最終到達目標			学習法				評価方法及び評価割合					
素材の特性を理解し、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明が出来るようになる。			講義 テスト				テスト		100%			

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
P106	素材知識 I							15		1		
担当教員	丸山 美幸				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレルのチーフデザイナーとして、婦人服の複数ブランド担当をへて高級婦人服プリントの企画と配色に従事。市場調査や流行分析、ブランドの市場への定着に積極的に取り組む。授業では、コーディネートの基本を指導する。										
講義目的												
素材の成り立ちを理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。 素材の特性を知り、ファッション販売～企画に必要な取り扱い説明が出来るようになる。												
授業内容												
素材の成り立ちを理解し、服の基礎となる素材知識を習得する。 素材の特性を知り、ファッション販売に必要な取り扱い説明が出来るようになる。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	復習ドリル					糸について、取り扱いについて復習ドリル					
2	2	織物について1					織物の3原組織について解説					
3	2	織物について2					織物の変化組織、その他織物について解説					
4	2	編物について1					編物の3原組織について解説					
5	2	編物について2					その他の編み物組織について解説					
6	2	復習ドリル					織物と編物について復習ドリル					
7	3	総復習ドリル					1年間の総復習ドリル					
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
留意事項												
講義で習った素材は触って覚えること。 素材感を実感する習慣をつける。 製品品質表示や下げラベルを意識して見ることを習慣づける。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」(文化服装学院) 関間正雄編「テキスタイル事典」(ナツメ社)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
素材の特性を理解し、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明が出来る。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
P105	ファッションカラー							15		1		
担当教員	西山 マキ				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	チラシ・パンフレットの作成。カラーセラピーを通して舞台美術・衣裳のデザインや制作、カラーコーディネートを行っている。										
講義目的												
<ul style="list-style-type: none"> ・色を細分化し具体的に学ぶことで、色の性質を学習する。 ・色彩学の基礎を習得し、活用する知識を身につける。 												
授業内容												
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の働き、色の三属性、対比現象などを学習し、色の役割や効果を理解する。 ・カラーカードを活用したワークや課題制作で体験的に色を感じる能力を身につける。 												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	STEP1 色彩の役割①					・オリエン ・個人の表現など ・色相環貼付け					
2	1	STEP1 色彩の役割②					・時代の表現など ・明度彩度表貼り付け ・色相環					
3	1	STEP2 色の表し方①					・色の三属性と分類 ・トーン表					
4	1	STEP2 色の表し方②					・色立体 ・トーンの明度 ・彩度貼付け					
5	1	STEP2 色の表し方③					・色相&トーンのイメージ					
6	1	照明と色の見え方					・光と色との関係 ・色名					
7	1	課題制作①					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
8	1	課題制作②					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
9	1	STEP3 色の見え方とイメージ①					・色の対比など					
10	1	STEP3 色の見え方とイメージ②					・色の同化現象など					
11	1	STEP3 色の見え方とイメージ③					・色の視認性など					
12	1	STEP3 色の見え方とイメージ④					・色のイメージ(色相) ・心理的効果					
13	1	STEP3 色の見え方とイメージ⑤					・色のイメージ(トーン) ・心理的効果					
14	1	STEP3 色の見え方とイメージ⑥					・色のイメージとカラー配色					
15	1	まとめ					・前期の復習					
留意事項												
<ul style="list-style-type: none"> ・課題制作では動画を見ながら別端末での制作なのでスマートフォンやタブレット、パソコンを別で用意してください。無い場合は紙を用意して制作しても大丈夫です。 												
教材												
日本色研事業株式会社「ファッション&ビューティーの色彩」 新配色カード(199a)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
ファッション業界に役立つ色彩効果をプランニングし活用できるようにする。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
P105	ファッションカラー							15		1		
担当教員	西山 マキ				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	チラシ・パンフレットの作成。カラーセラピーを通して舞台美術・衣裳のデザインや制作、カラーコーディネートを行っている。										
講義目的												
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の役割と配色技法を理解し、プランニングに活用する。 ・パーソナルカラーや心理的效果を現場実習で活用する。 												
授業内容												
<ul style="list-style-type: none"> ・配色を中心とした色彩効果を、スタイリング分析で理解する。 ・パーソナルカラーや色の心理を通して、色彩の役割を学習する。 												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	STEP4 配色の基本①					・配色における色相の関係					
2	1	STEP4 配色の基本②					・配色におけるトーンの関係					
3	1	STEP4 配色の基本③					・配色と面積					
4	1	STEP4 配色の基本④					・ファッション配色技法 1					
5	1	STEP4 配色の基本⑤					・ファッション配色技法 2					
6	1	STEP4 配色の基本⑥					・ファッション配色技法 3					
7	1	STEP4 配色の基本⑦					・ファッション配色技法 4					
8	1	課題制作					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
9	1	ファッショントレンド					・流行色 ・トレンドの流れ					
10	1	戦後のファッションと美容					・ファッションと美容の歴史					
11	1	パーソナルカラー①					・似合う色とは					
12	1	パーソナルカラー②					・フォーシーズン分類					
13	1	色彩心理					・色の心理効果、感情効果					
14	1	色の役割					・消費者が選択する色 ・生活と色彩					
15	1	まとめ					・1年間の総括					
留意事項												
課題制作では実際に自分が持っているアイテムを使用します。												
教材												
日本色研事業株式会社「ファッション&ビューティーの色彩」 新配色カード(199a)												
最終到達目標					学習法				評価方法及び評価割合			
配色技法や色彩の役割を学び、ファッションに活かしていく。 色彩検定3級合格を目指す。					講義 テスト				テスト		100%	

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数			単位数	
P103	商品知識							15			1	
担当教員	小谷 秀子				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○				元アパレルデザイナー。その後、服飾専門学校専任講師を12年間勤務。その実務経験によりパーソナルカラー&パーソナルスタイルを中心に指導。							
講義目的												
アパレル業界の仕事に就くためには、お客様に対して取り扱うファッション商品の説明や提案が求められます。そのために必要なアイテムの分類や名称、シルエット、ディテールの知識、商品の良さを伝えるスキルを習得できます。												
授業内容												
主に教科書とスライドを使用し、ファッション商品の由来や名称を解説します。その後、服のディテールやシルエット、アイテム名、商品説明をペーパープランにまとめていくことで理解を更に深めていきます。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	商品知識の概要					商品知識の必要性・ファッション用語の理解					
2	1	アパレル商品とサイズについて					商品分類とサイズの理解					
3	1	シルエット分類					シルエットの理解と分類					
4	1	ワンピース分類					シルエット、着丈、名称の理解、アイテム分類					
5	1	スカート分類					シルエット、着丈、名称の理解、アイテム分類					
6	1	パンツ分類					シルエット、着丈、名称の理解、アイテム分類					
7	1	ジーンズの知識					ジーンズウェアの理解、アイテム分類					
8	1	テスト①/ディテール分類					ワンピース、ボトムのテスト/カラー、ネックライン、袖の分類					
9	1	シャツブラウス分類					シャツブラウスのディテール、名称の理解					
10	1	シャツブラウス提案					シャツブラウスの商品説明を作成					
11	1	シャツブラウス提案					シャツブラウスの商品説明を提出					
12	1	テスト②/ニットの分類					シャツブラウスのテスト/ニットのディテール、名称の理解					
13	1	ジャケット分類/スーツ分類					ジャケットのディテール、名称の理解/スーツの用途					
14	1	コート分類					コートのディテール、名称の理解					
15	1	まとめ					これまでの授業振り返り					
留意事項												
日頃からファッション商品をリサーチすることが望ましい												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 ファッション流通講座5 コーディネートテクニク アパレル編1 (商品知識)」(文化出版局 2013年) 一般財団法人日本ファッション教育振興協会編「ファッション販売能力検定試験 3級公式テキスト」 (一般財団法人日本ファッション教育振興協会 2018年)												
最終到達目標					学習法				評価方法及び評価割合			
主に婦人服のアイテム分類および商品説明ができるようになる。					教科書の復習、リサーチ、ファッション雑誌、ファッションサイト等で商品説明に関心を持ちながらチェックすることで知識を高めることができる。				筆記テスト		40%	
									課題提出		60%	

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数			単位数	
P103	商品知識							15			1	
担当教員	小谷 秀子				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○ 元アパレルデザイナー。その後、服飾専門学校専任講師を12年間勤務。その実務経験によりパーソナルカラー&パーソナルスタイルを中心に指導。											
講義目的												
アパレル業界の仕事に就くためには、お客様に対して取り扱うファッション商品の説明や提案が求められます。そのために必要なアイテムの分類や名称、シルエット、ディテールの知識、商品の良さを伝えるスキルを習得できます。												
授業内容												
主に教科書とスライドを使用し、ファッション商品の由来や名称を解説します。その後、服のディテールやシルエット、アイテム名、商品説明をペーパープランにまとめていくことで商品の理解を更に深めていきます。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	テスト①/フォーマルウェアの知識					アウターのテスト/洋装のフォーマルについて					
2	2	紳士服の分類					紳士服のジャケット、スーツ、コートを理解					
3	2	アウター提案					アウターの商品説明作成					
4	2	服飾小物の分類					靴、鞆、帽子の理解、アイテム分類					
5	2	アクセサリーの分類					めがね、装飾品の理解、アイテム分類					
6	2	子供服、インナーウェア分類					子供服の年齢による服の違い、肌着の知識					
7	3	テスト②/検定対策					服飾小物のテスト/ファッション販売検定3級対策					
留意事項												
日頃からファッション商品をリサーチすることが望ましい												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 ファッション流通講座5 コーディネートテクニック アパレル編1 (商品知識)」(文化出版局 2013年) 一般財団法人日本ファッション教育振興協会編「ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト」(一般財団法人日本ファッション教育振興協会 2018年)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
婦人服、紳士服を含めアイテム分類、商品説明、提案ができるようになる。				教科書の復習、リサーチ、ファッション雑誌、ファッションサイト等で商品説明に関心を持ちながらチェックすることで知識を高めることができる。				筆記テスト		40%		
								課題提出		60%		

学科名	ブランドプロデューサー学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数		単位数		
P110	西洋服装史							15		1		
担当教員	筒井 直子				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○		西洋服飾の研究機関にて学芸員として20年以上勤務。その知識と経験をもとに、西洋服装の歴史並びに実物の詳細を解説する									
講義目的												
西洋服装の基礎知識を学び、時代地域、社会、芸術との関わりを知る。												
授業内容												
古代から現代までの西洋の服飾について、絵画、写真、雑誌、映画などを参照しながら歴史をたどる。その中で基本的な事象や用語を踏まえつつ、衣服自体の構造や構成についても言及していく。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	イントロダクション					歴史衣装を学ぶことの意義とその活用について					
2	1	古代					古代メソポタミア～古代ローマの服装を理解する					
3	1	中世					中世の服装の変遷を理解する					
4	1	16世紀					スペイン、イギリスを中心とする服装の特徴を理解する					
5	1	17世紀					オランダを中心とする服装の特徴を理解する					
6	1	18世紀①					フランスの社会構造と服装の関連を理解する					
7	1	18世紀②					フランス宮廷における服装の実物遺品の詳細を学ぶ					
8	1	19世紀①					市民社会の社会構造と服装の関連を理解する					
9	1	19世紀②					ファッション産業に関する諸事情について理解する					
10	1	19世紀③					19世紀の服装の実物遺品の詳細を学ぶ					
11	1	下着の歴史					主に18世紀から19世紀の下着の種目と構造を学ぶ					
12	1	20世紀前期					デザイナーの活躍と社会的背景について理解する					
13	1	20世紀中期					オートクチュール全盛期の服装について学ぶ					
14	1	20世紀後期					プレタポルテが牽引する服装について学ぶ					
15	1	現代とこれまでの総括					歴史を振り返りその活かし方を学ぶ					
留意事項												
授業の中で紹介するサイトや書籍、映画等に出来る限り目を通す事												
教材												
ポータル PDF を添付(深井晃子監修『世界服飾史』(美術出版社)や筒井直子監修『服をめぐる』など)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
服装の時代的な変遷を理解し、その社会や時代背景を関連付ける。また、その知識をデザインやコーディネートに反映する				授業動画を繰り返し視聴し、用語や事象を復習する。また、西洋絵画や文化に関する書籍や展覧会に触れる事でより理解を深めることができる				提出物		100%		